

西暦 2024年 11月 22日

2013年1月1日～2028年3月31日までに
産業医科大学病院において乳腺 MRI 検査を
受けられた患者さん及びご家族の方へのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2022年3月23日制定 2022年6月30日施行）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

乳癌における超高速造影ダイナミック及び IDEAL 法を用いた、マルチパラメトリック MRI と病理学的予後因子および予後との関係

2. 研究期間

研機関の長の許可日～2028年3月31日

3. 研究機関

産業医科大学

4. 研究責任者

所属 産業医科大学医学部放射線科学 職名 助教 氏名 藤崎 瑛隆

5. 研究の目的と意義

乳癌は女性で最も罹患率が高い癌です。乳腺造影ダイナミック MRI は広がり診断においてマンモグラフィーやエコーより精度が高く、乳癌診療において大きな役割を担っています。

近年MRI技術の発達により、造影剤を投与してか短時間で複数回撮像する超高速造影ダイナミックMRI(UF-DCE MRI)によって乳腺腫瘍を栄養する血管の詳細な評価が可能になるとともに、脂肪の定量的指標である脂肪含有率(fat fraction)を高精度で計測できる撮像法であるIterative decomposition of water and fat with echo asymmetry and least-squares

estimation (IDEAL) 法など、複数の新たな撮像法を用いた(マルチパラメトリックな)乳腺腫瘍の評価が可能となりました。

これらの撮像法は個々では乳癌の病理学的予後因子や予後等に関与していると報告されていますが、これらを組み合わせたマルチパラメトリックな評価と病理学的予後因子や予後との関係を検討した研究の報告はありません。

[目的]

乳癌における UF-DCE MRI 及び IDEAL 法などのマルチパラメトリック MRI と病理学的予後因子および予後との関係进行评估します。

[意義]

この研究の結果は、患者さんへの負担を増やすことなく、より良い乳腺疾患治療を提供するための資料となり、今後の乳腺診療の発展に役立てられます。

6. 研究の方法

MRI 検査が施行され、かつ生検や手術で病理組織学的評価をされた患者さんの診療情報を元にマルチパラメトリック MRI と病理診断結果や臨床経過との関係について検討します。

7. 個人情報の取り扱い

カルテからの診療情報と MRI 画像データを使用させていただきます。あなたの個人情報は削除して匿名化し、情報の徹底管理によって漏洩を防止します。この研究の実施や得られた成果を学会や論文などに発表する場合には、個人を特定できる氏名、住所などの個人情報は一切使用いたしません。また、解析したデータは当該論文発表後 10 年間の保管した後、データ復元できないように消去する等、個人情報が外部に漏れないように対処した上で、廃棄いたします。

この研究に該当する方で、ご自身の診療データ等の使用を希望されない方は、下記研究責任者へお申し出下さい。その場合、収集データは廃棄いたします。

8. 問い合わせ先

産業医科大学医学部放射線科学講座

職 名：助教

氏 名：藤崎 瑛隆

電 話：093-603-1611 内線 2406 (放射線科資料室)

F A X：093-692-0249

9. その他

研究への参加に対する直接的な利益はありません。また、費用の負担や謝礼もありません。この研究は講座研究費で行われており、一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。